

# 真剣に「営業活動」

阿南

ポランティア  
フエスに協賛

## 中学生ら起業体験

小中学生たちが起業体験をする「ジュニアペンキヤプログラム」阿南が十四日、全国ポランティアフエステイバル阿南フロア会場であり、七組に分かれて八日に設立した。会社が、一日だけの「営業」を行った。

会館の駐車場に、主に同市や那賀郡那賀川、羽ノ浦両町内の小中学生ら四十六人が出した七店舗が並んだ。一般の店に之じってヤキソバ、クッキーなどを販売、小さな「社員」たちは営業アップを目指し自分たちの店を元気にPRし、中には懸賞をかけて客寄せを組もうとす。

販売後は決算報告書を作成、利益は一律を「税金」として社会福祉施設へ寄付。残りを出資者に「配当」という形で分配した。うるとん店の「社長」の竹治博文君は「羽浦中一年」は「利益があったので配当は出せようだけれど、営業報告書を書くのは難しくて頭が痛い」となれない作業に

戸惑っていた。同プログラムは、小中学生が一人千円の出資金を出し合って会社を設立し、商品の企画・販売を通して実際に利益を追求する。会社をつくる楽しさや経済の仕組みを知ってもらうのが目的。



設立した「会社」の決算報告書作成を行う子供たち＝阿南市民会館